

エビデンスレベル分類・推奨グレード分類

表1-a エビデンスレベル分類

Level	内容
1a	ランダム化比較試験のメタアナリシス
1b	少なくとも一つのランダム化比較試験
2a	ランダム割付を伴わない同時コントロールを伴うコホート研究（前向き研究，prospective study，concurrent cohort studyなど）
2b	ランダム割付を伴わない過去のコントロールを伴うコホート研究（historical cohort study，retrospective cohort studyなど）
3	ケース・コントロール研究（後ろ向き研究）
4	処置前後の比較などの前後比較，対照群を伴わない研究
5	症例報告，ケースシリーズ
6	専門家個人の意見（専門家委員会報告を含む）

表1-b 診断検査を扱った論文の亜分類

Level	内容
1	新しい診断検査とgold standardとされる検査とを同時に行い，ブラインド（他方の検査結果を知らせない）で検査の特性（感度と特異度，ROC曲線）を評価
2a	新しい検査法とgold standardの両方を同時に行うのではなく，2つの異なるグループにそれぞれ新しい検査法とgold standardの両方を同時に行うのではなく，全員に新しい検査法を施行し，過去のデータと比較
2b	新しい検査法とgold standardの両方を同時に行うのではなく，全員に新しい検査法を施行し，過去のデータと比較
3	新しい検査法のみを全員に施行し，比較はなし

表1-c 治療法を扱った論文におけるレベル1と2、あるいはレベル4の亜分類

Level	内容
(1)	対象者数が200人以上，平均（あるいはメディアン）追跡期間が5年以上，脱落率10%未満
(2)	対象者数が中程度（100人以上200人未満），平均（あるいはメディアン）追跡期間が5年以上，脱落率10%未満
(3)	対象者数が200人以上，平均（あるいはメディアン）追跡期間が5年未満，脱落率10%未満
(4)	対象者数が中程度（100人以上200人未満），平均（あるいはメディアン）追跡期間が5年未満，脱落率10%未満
(5)	対象者数が100人未満，平均（あるいはメディアン）追跡期間が5年以上，脱落率10%未満
(6)	対象者数が100人未満，平均（あるいはメディアン）追跡期間が5年未満，脱落率10%未満
(7)	対象者数，追跡期間によらず，脱落率が10%以上

表2-a 「推奨の強さの分類と表示」

グレードA	行うよう強く勧められる
グレードB	行うよう勧められる
グレードC1	行うことを考慮してもよいが，十分な科学的根拠がない
グレードC2	科学的根拠がないので，勧められない
グレードD	行わないよう勧められる

表2-b 「根拠の強さ」の分類と表示

グレードA	言いきれぬ強い根拠がある
グレードB	グレードB：言いきれぬ根拠がある
グレードC	グレードC：言いきれぬ根拠がない

注：グレーディングの根拠

グレードA	少なくとも1つのレベル1（1a/1b）の研究がある
グレードB	少なくとも1つのレベル2（2a/2b）の研究がある